

第53期第2四半期決算説明資料

(2018年4月1日 ~ 2018年9月30日)

会社概要

【会社名】 株式会社 **エノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 (東証一部)

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

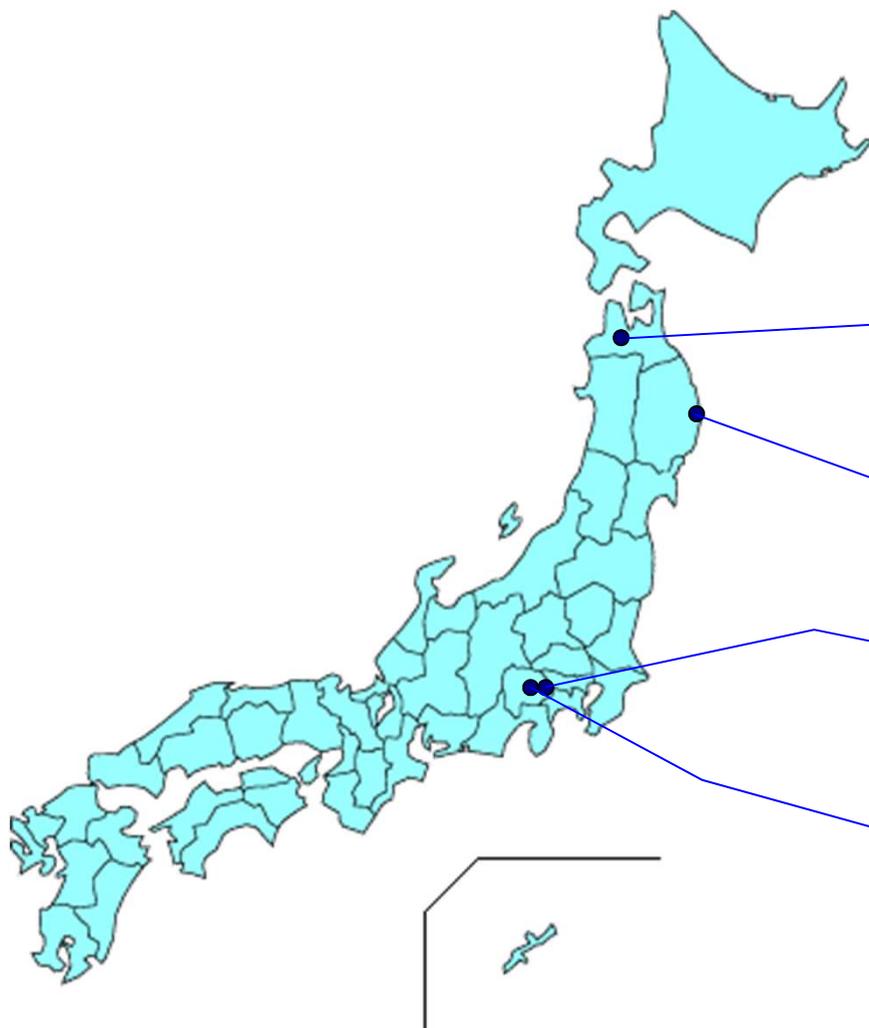
【問合せ先】 経営管理グループ統括執行役員 山下 久幸

【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)





・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

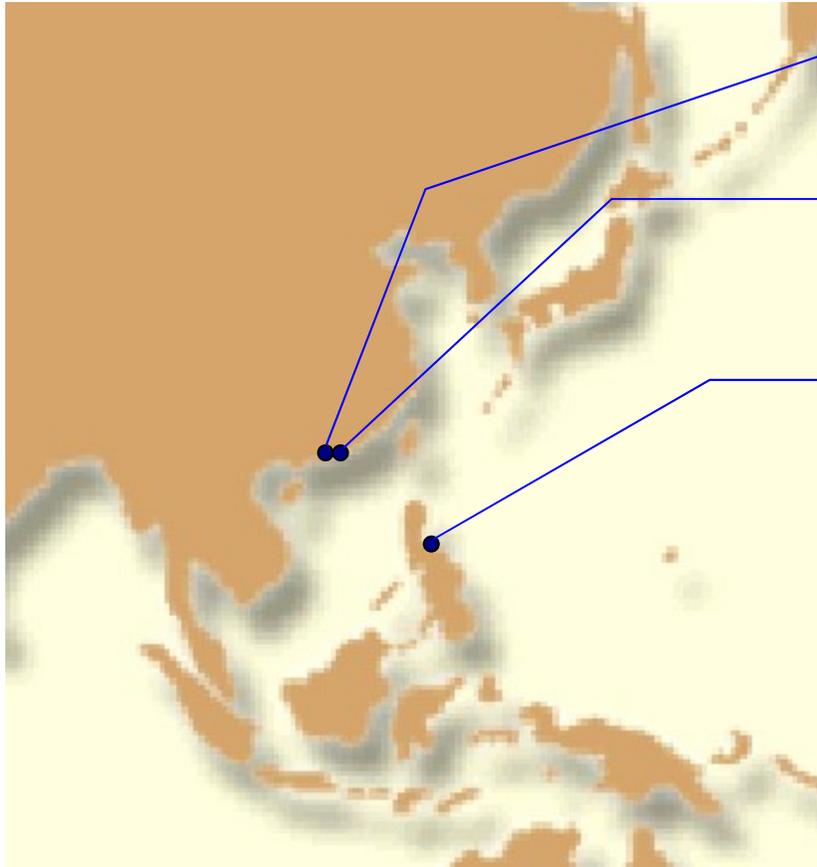
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社/本社工場(上野原)

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場(塩山)

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264



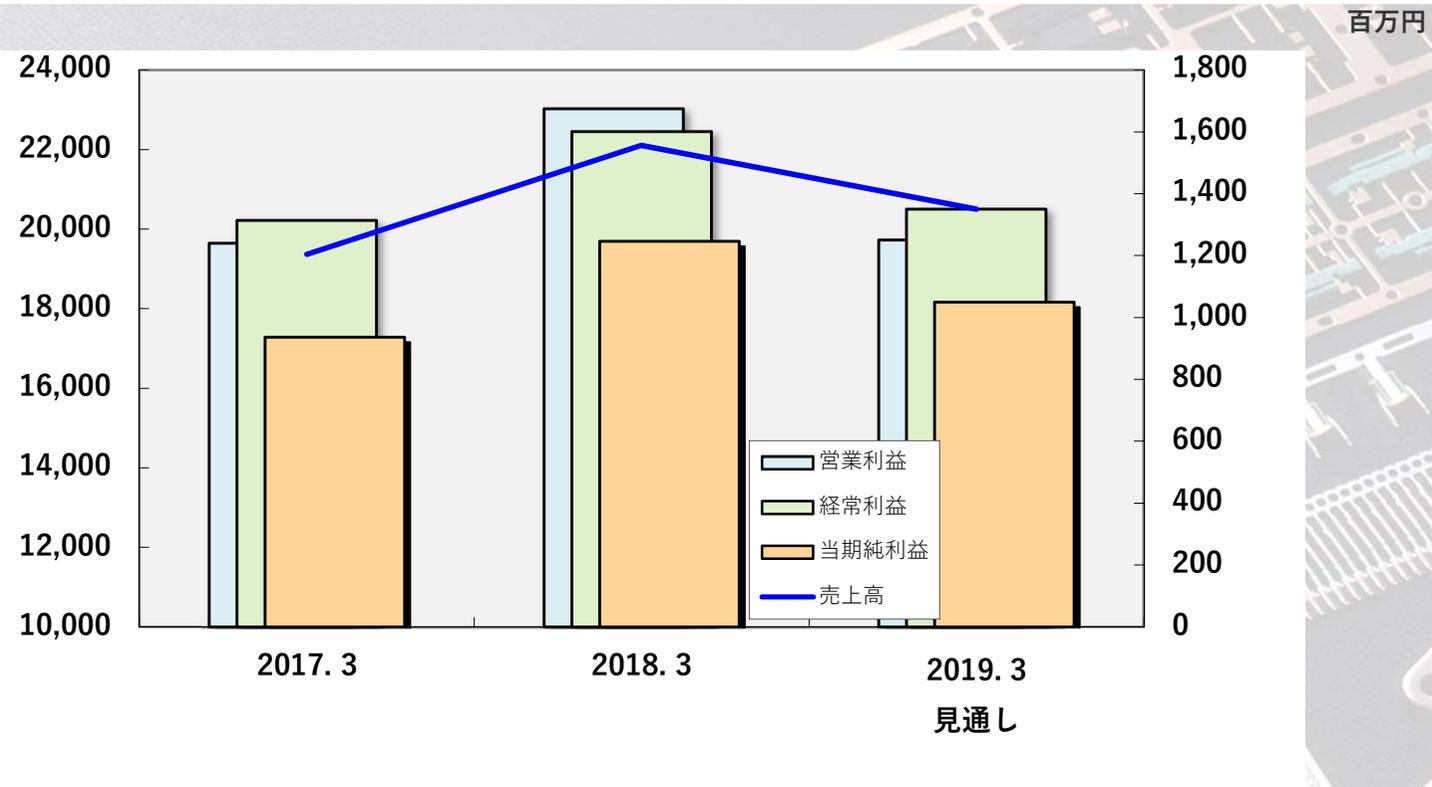
☆配当予想

普通配当 30円に一部指定記念配当
5円を加え、昨年と同額の予想

	1株当り 期末配当金	内訳
2018年3月期	35円	普通配当 30円 上場記念配当 5円
2019年3月期	35円	普通配当 30円 上場記念配当 5円

■ 通期業績予想

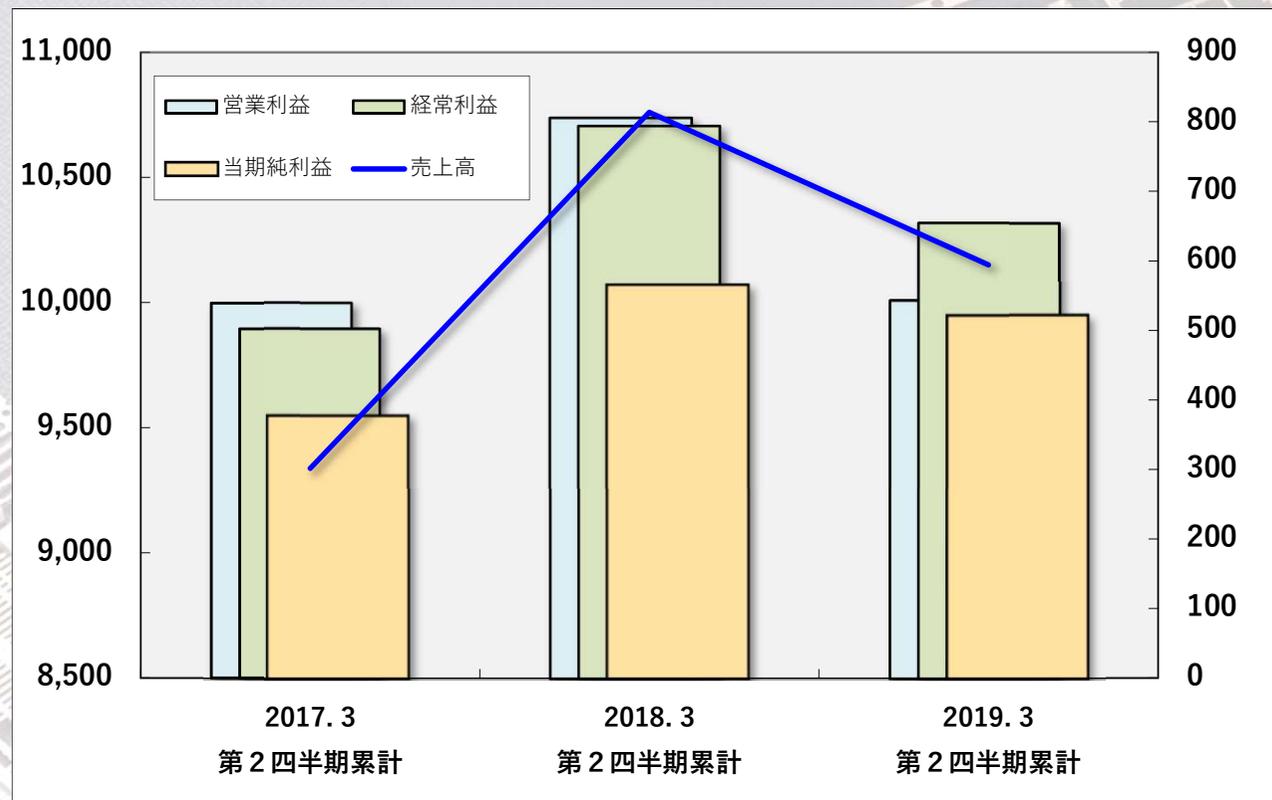
● 連結



	2017.3	2018.3	2019.3 見通し	前期比
売上高	19,366	22,103	20,500	7.3%減
営業利益	1,240	1,674	1,250	25.4%減
営業利益率	6.40%	7.57%	6.10%	-
経常利益	1,314	1,601	1,350	15.7%減
経常利益率	6.79%	7.24%	6.59%	-
当期純利益	936	1,246	1,050	15.7%減
当期純利益率	4.83%	5.64%	5.12%	-

業績説明

■ 連結業績の推移



	2017. 3 第2四半期累計	2018. 3 第2四半期累計	2019. 3 第2四半期累計	前期比
売上高	9,337	10,760	10,150	5.7%減
営業利益	539	805	543	32.5%減
営業利益率	5.7%	7.4%	5.4%	2.1P減
経常利益	502	793	654	17.6%減
経常利益率	5.3%	7.3%	6.4%	0.9P減
当期純利益	377	565	521	7.8%減
当期純利益率	4.0%	5.2%	5.1%	0.1P減

連結売上高の増減要因

- ・ 車載向け部品は、変わらず堅調な推移
- ・ 競技場等大型ディスプレイ向けやアドバタイズメント用途の成長
- ・ モバイル向け部品の第1四半期の出荷開始遅れ

(地域別ダイジェスト)

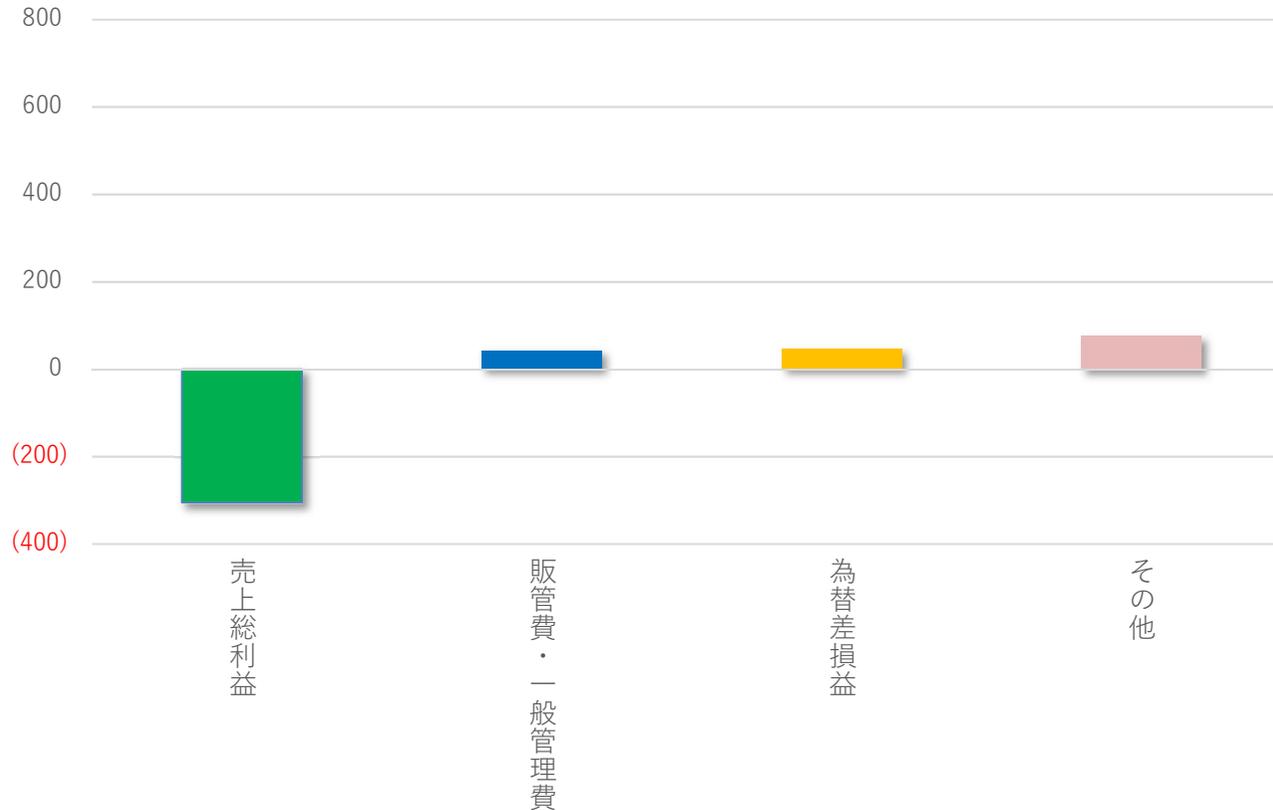
フィリピン

- ・ 車載向け部品の堅調
- ・ セブに有った金型工場を、カビテに集約し合理化推進
- ・ 新工場の建物・設備の償却増加

中国

- ・ 各種コネクタ部品の伸長
- ・ 前期に発生したスポットオーダーは消失

経常利益増減要因



(百万円)				
経常利益増減要因	2017.3 第2四半期	2018.3 第2四半期	増減金額	説明
売上総利益	1,905	1,600	-305	売上減少による付加価値の減少
販管費・一般管理費	-1,099	-1,056	43	出荷減影響
為替差損益	-20	27	47	円安傾向による
その他	7	83	76	受取配当金
経常利益	793	654	-139	



	2018. 3 第2四半期末	2018. 3 期末	2019. 3 第2四半期末
総資産 (百万円)	21,918	23,635	22,903
純資産 (百万円)	12,657	14,761	14,839
自己資本比率	57.6%	62.4%	64.7%

① I C・トランジスタ用リードフレーム

車載向けを中心に、国内・海外生産がともに好調に推移も、子会社における一部民生用機器向け部品の受注減の影響から、売上減。

② オプト用リードフレーム

LED部品が主、競技場・競馬場等大型ディスプレイ向けやアドバタイズメント用途、大型テレビ向け等出荷数量増。

オリンピックに向け底固い需要は変わらず。

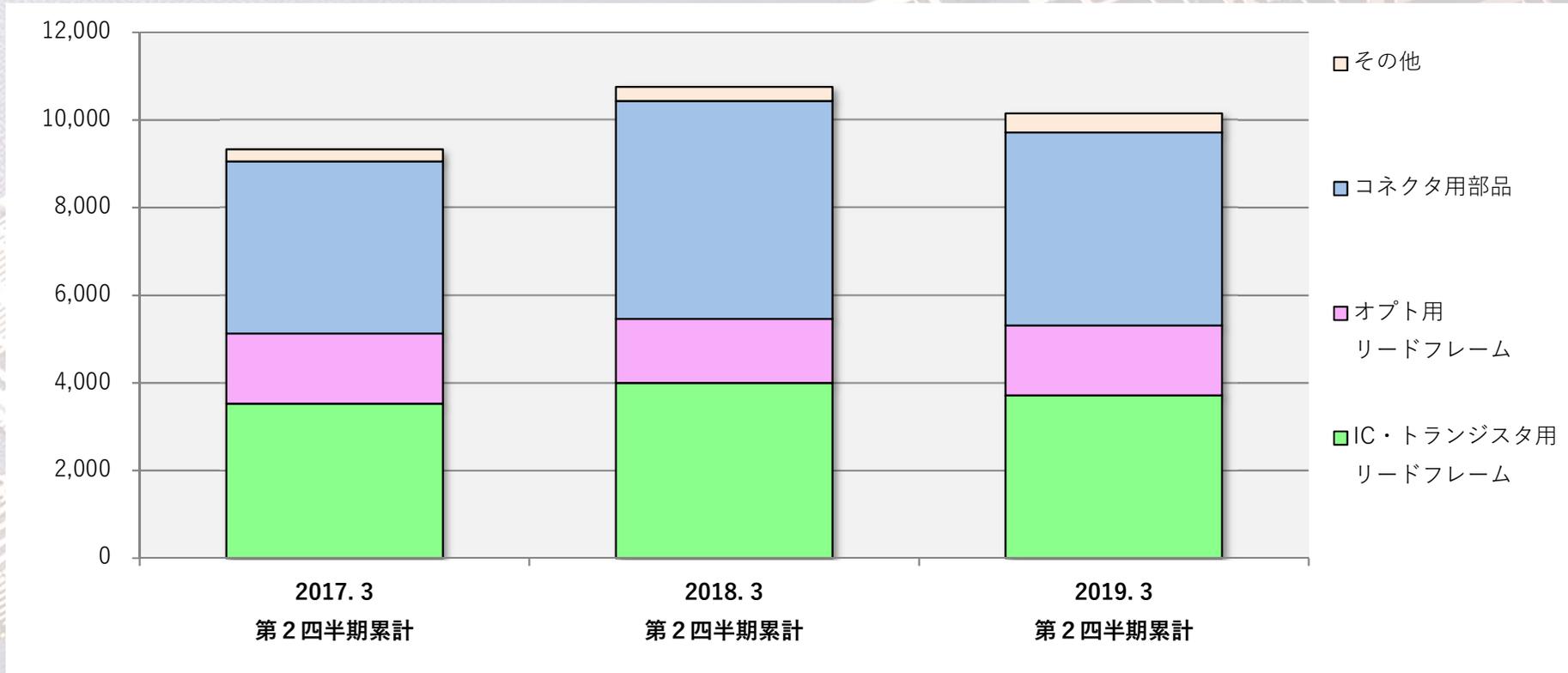
③ コネクタ用部品

フィリピンで生産の車載向けは変わらず堅調。

スマートフォン向け部品、客先における今年の新商品の生産調整による、出荷開始遅れ影響により売上減。

■製品群別業績(売上高)

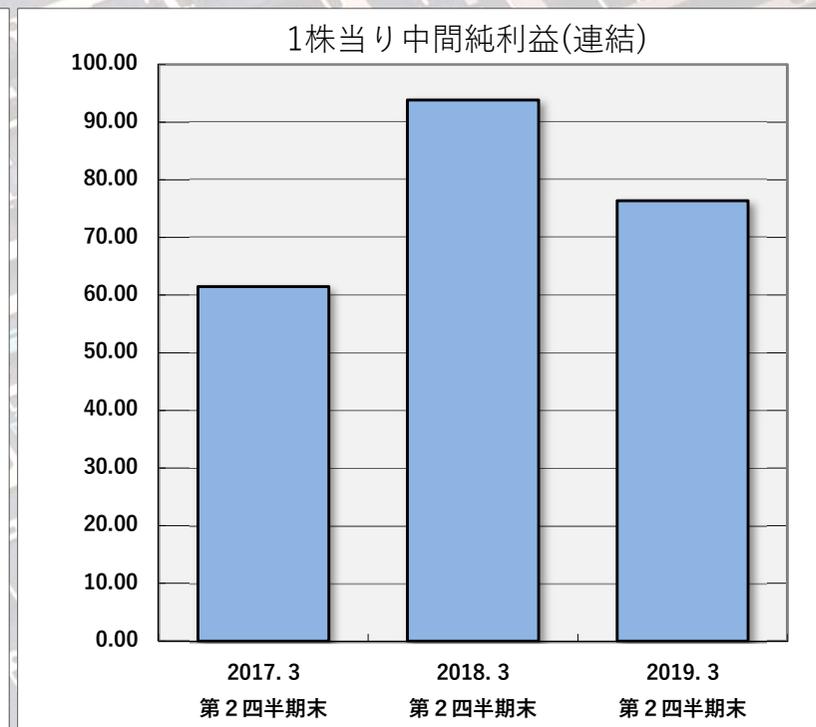
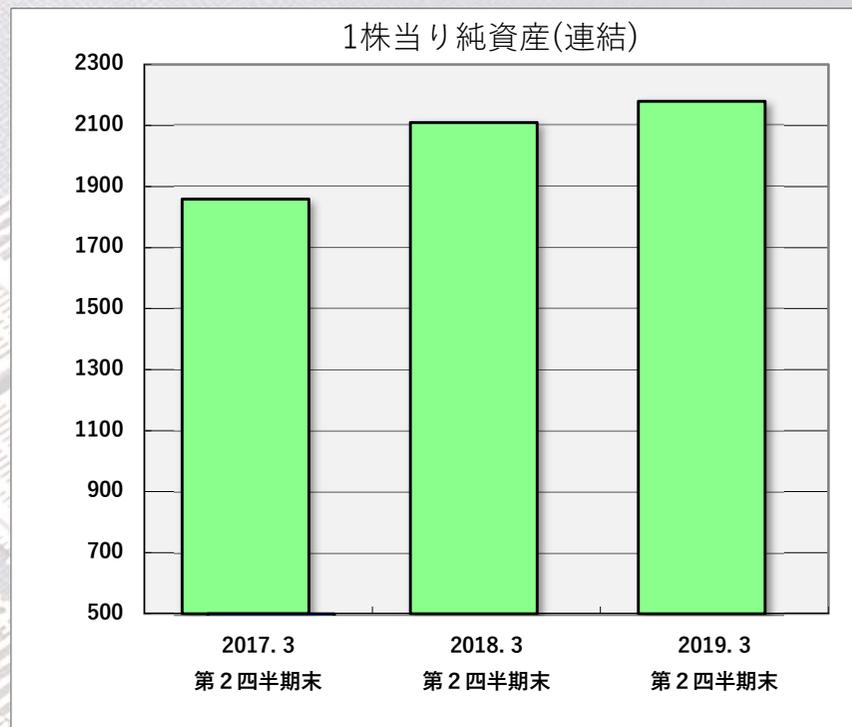
百万円



	2017. 3 第2四半期累計	2018. 3 第2四半期累計	2019. 3 第2四半期累計	前期比
IC・トランジスタ用リードフレーム	3,528	3,998	3,717	-7.0%
オプト用リードフレーム	1,598	1,465	1,592	8.7%
コネクタ用部品	3,932	4,973	4,405	-11.4%
その他	277	321	435	35.6%
合計	9,337	10,760	10,150	-5.7%

■ 1株当り指数

円



	2017. 3 第2四半期末	2018. 3 第2四半期末	2019. 3 第2四半期末	前期比
1株当り純資産(連結)	1,859.36	2,109.70	2,179.61	3.3%
1株当り中間純利益(連結)	61.45	93.85	76.40	-18.6%

各品目の動向

① IC・トランジスタ用リードフレーム

☆市場概況

- ・ 堅調な推移は変わらず。
⇒ IoT需要（産機、サーバー等）、自動車の電装化率上昇
- ・ 出荷数量年平均成長率（富士キメラ総研 推定）2017年～2022年 = 5.5%

☆当期の見通し

- ・ 車載向けは変わらず堅く、計画通りの推移を見込む。
- ・ 全体的に、来期に向けては堅い推移を予測。

② オプト用リードフレーム

☆ 市場概況

- ・国内では2020年に向けた、インフラ及び大型設備投資の増大
- ・その後も国内外に安定的な設備投資見込み
- ・パブリックディスプレイの年平均成長率（富士キメラ総研 推定）
⇒ 2017年～2023年 = 8.0%

☆ 当期の見通し

- ・現状では、当初予測を上回る推移。
- ・当期末までの予測においても、好調の維持を見込む。
大型設備投資向け需要は、中長期的な成長を予測。

③ コネクタ用部品

☆ 市場概況

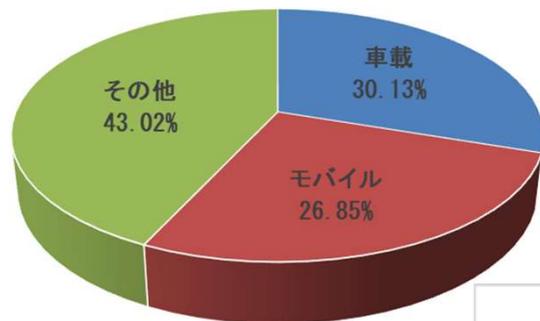
- ・ 車載用大型コネクタ部品の需要は変わらず堅調
- ・ スマートフォン部品について、客先の生産計画の変更により出荷が後ろ倒し
- ・ コネクタ世界市場規模は、2016年～2025年まで年率2.8%増で成長予想
(富士キメラ総研 推定)
- ・ ウェアラブル関連、コネクテッドカーなどの伸長

☆ 当社見通し

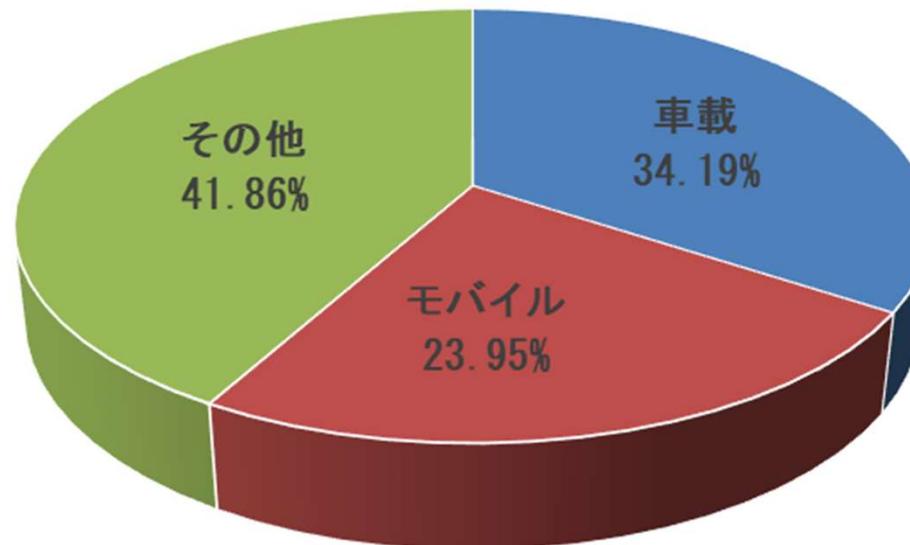
- ・ 車載（エアバッグ関連等）向けのコネクタは変わらず堅調な推移を見込む。
当社の生産能力の強化によって、増大を図る。
- ・ スマートフォン向け部品は第1四半期の遅れを完全に挽回はできず。
- ・ ウェアラブル関連部品に伸長。売上高の底上げに寄与。

用途別量産品売上割合

2018年3月期(通期)



2019年3月期(上半期)



ENOMOTO Co.,Ltd.

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。